



國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

168

國家圖書館出版社

六月三日

六月四日

國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

168

國家圖書館出版社

第一六八冊目錄

昭和十四年（一九三九）調查報告（第三十六期生）

香港に於ける支那人の對日感情

香港的中國人對日感情 中山一三

香港ニ於ケル日本人商工業者ノ活動狀況

香港的日本工商業者的活動狀態 宮原正四郎

香港ニ於ケル物產ノ出廻リ及ビ取引狀況

香港物產の流通及交易狀況 堀深

香港華僑調查

香港華僑調查 田坂三雄

宣教師ノ活動狀況

傳教士的活動狀況

林正秋

三五五

香港に於ける外人權益に就て

關於香港的外國人權益

下垣内正典

四〇一

香港及澳門に於ける交通狀況

香港及澳門的交通狀況

横川武

五二五

和十四年度

大旅行報告書

中山一三

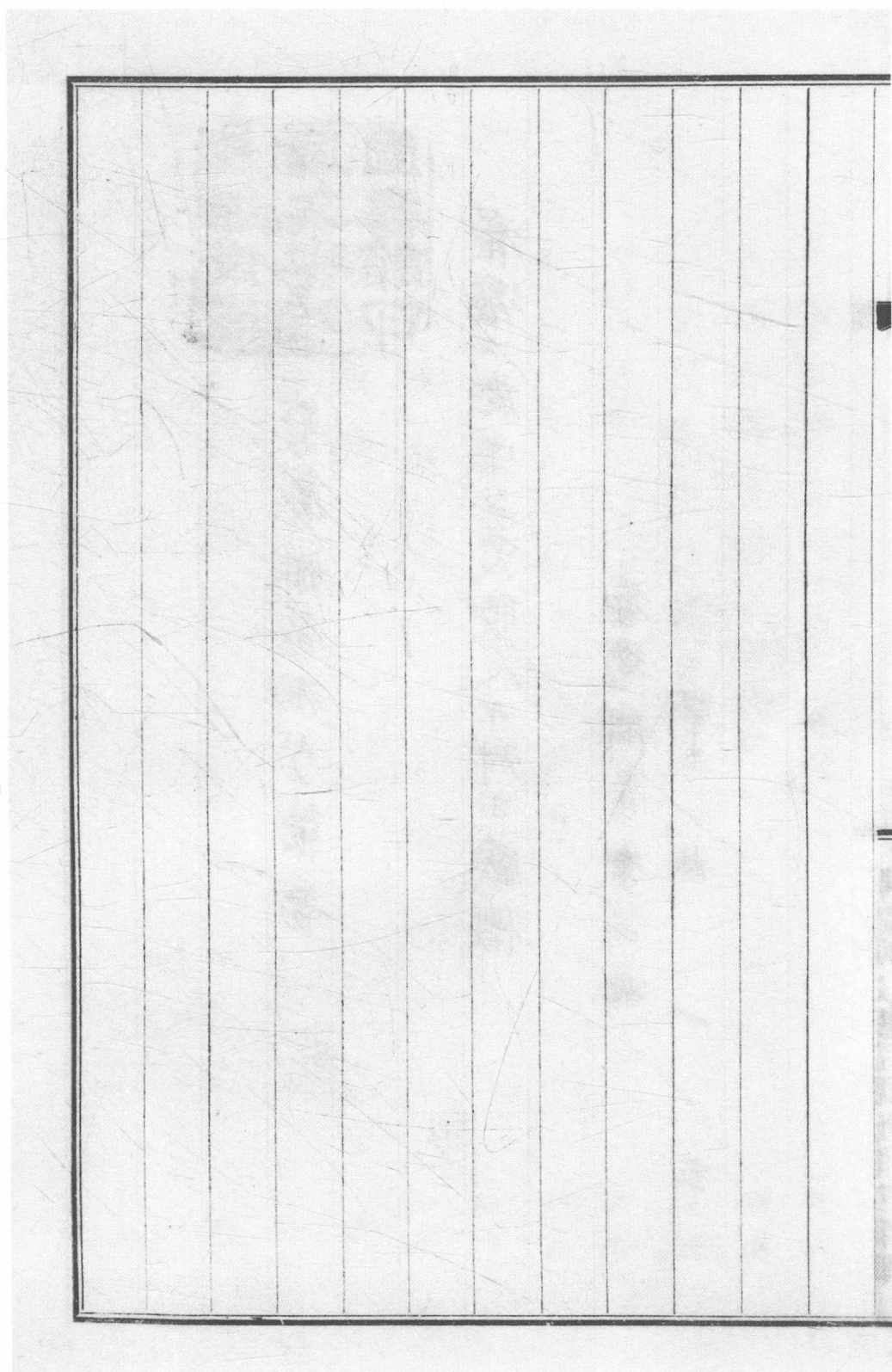


年度調査旅行報告

香港に於ける支那人の対日感情

香港調査第一班

中山 一三



一、はしかき	一
二、支那人感情に影響する環境	二
イ、新聞紙	二
ロ、出版物	九
ハ、映画・演劇	一九
ニ、夢校教育	二二
三、香港に在る支那人の特殊性	二三
四、支那人の事変及び日本に対する感情の表はれ	二五
イ、愛国運動、公債の消化状況	二五
ロ、汪兆銘声明の反響	二七
ハ、李佐夫氏との會見記	二八

ニ、対日本人直接不合法行為

三〇

木田中松一君の談話

三二

五むすび

三四

附、澳門に於ける支那人の対日感情

一、はしかき

今夏六月初旬、東亜同文書院の命を受けて香
港に到り、約十日間に亘り「支那人の対日感情」に就
いて調査する所があつたが、此はその調査報告で
ある。短時日の調査であり、加之言語の不通、土地不案内の結果、調査は主として該地に於ける邦人の談
話を基礎とし、更に該地の出版界、現実の動向等
を併はせて考察した。以下筆者は、支那人の環境
を客観的に捕へ、支那人の感情の表はれ一こを記し
簡単なる結論に導く事とする。斯る貧弱な資
料に基き結論を求むる事は、極めて危険な事だ
あるが、一応整理の考筆者の感じた所のものを記す

に止める。

二、支那人感情に影響する環境

1. 新聞紙

香港では新聞としては英字紙と漢字紙とがあるが、英字紙は支那人にとり依然従的な意味しか持たぬとはいへ、他地方に比し、此処では相當大きい影響力を持つてゐる。此の事は當地在住の支那人は英領にあり英口の保護下にある關係上、英口依存の傾向強き事よりも容易に理解される所であらう。

漢字紙はその種類極めて多く、夫々背後に政治的地盤を有し、機關紙としての色彩が濃い。而して新聞事業は所謂「紙彈」として抗日宣傳戦の第一

線線に立てられ、加之香港政廳の取締り頗る寛大なる爲言論の自由は無制限に享受され、反日抗日一色を以て塗り潰されてゐるのである。而して此等新聞紙は独り香港のみならず、遠く南洋華僑の間にさへも広く拡がつてゐるものである。

今此等新聞紙の各々を就き見れば――

新聞紙名	主義(背景)	編輯者	発行部数	大小	備考(対日態度)
華字日報	支那民族擁護	曾炳輝	四、〇〇〇	朝刊 一六頁	対日態度不良
華字晚報	"	"	一五、〇〇〇	夕四	"
華星早報	"	"	五、〇〇〇	朝四	"
循還日報	"	溫嘉坡	七、〇〇〇	朝一六	"
循還晚報	"	"	一五、〇〇〇	夕四	"

香港朝報	〃	〃	八、〇〇〇	朝八	〃
工商日報	支那民族擁護 及英支親善	何東	六、〇〇〇	朝一二	極めて不良、常に 排日の急先鋒ト
工商晚報	〃	〃	二〇、〇〇〇	夕四	〃
天光報	〃	〃	一四、〇〇〇	朝八	不良
華僑日報	民族擁護	岑維林	九、〇〇〇	朝二〇	頗る不良
南強日報	〃	鄭子文	三、〇〇〇	朝八	不良
南中報	〃	江民声	五、〇〇〇	夕八	〃
大光報	基督教宣傳	陳慧生	二、〇〇〇	朝一六	頗る不良
先報	〃	〃	二、〇〇〇	朝 小報 四	〃
東方日報	蔣介石国民党系	陳雁声	三、〇〇〇	朝八	〃、 現立休刊
大衆日報	山西系	林露民	三、〇〇〇	朝六	珠江日報の統制下にあ
珠江日報	〃	王逸志	三、〇〇〇	朝八	〃

5

大公報	中國晚報	星島晚報	星島日報	星島報	立報	申報	探海島日報	自然日報	港報	天演日報	南華日報
中二	口家社會黨 林國強	"	南洋華僑新聞紙	C.C. 團派	口民黨左派	中五	口家主義 中青年黨系	商子發展	陳清棠系	華僑新聞紙	汪兆銘系
吳遠銓	程鳴浩	"	吳子安	孔裕文	成舍我	史詠慶	張蘭州	何又法	陳彬龢	李仲猷	林柏生
四〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	七、〇〇〇	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一三、〇〇〇	一五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	(昭和十三年停刊)	二、〇〇〇	三、〇〇〇
朝八	"	夕四	朝六		朝四 中報	朝四	朝四 中報	朝四 中報	朝四 中報	朝八	朝四
好評	"	"	不良	不良 上海晨報の復 活せるもの	不良 論旨失銳記者通俗	不良 一般に歡迎さる	"	通俗記事	"	"	不良

東京司文書完周生張吉月氏

其の他小報として不定期に、天文台、快報、浩然報、昌報、石山日報、明星、南風、先聲、大華報、正經、環球人生等の新聞紙があるが、何れもその記事は通俗であり、対日態度は不良である。

此処に注意すべきは、台湾總督府の系統である。唯一の日本側漢字機關紙「香港日報」の存在である。

以上に述べた香港漢字新聞紙全体に就き見る時、大體二つの主流がある。一は香港日報の形をとる日本側の主張であり、二は南華日報による汪兆銘系統の和平主張であり、三は他の大部分の漢字新聞にして抗日一色を以て塗り潰さるゝものである。香港日報は余り部数極めて少いけれども、採算を度外視

して宣傳に努め、遠く南洋華僑にも発送したりして
居り、最近には相當な實行を見て来たとの事であ
る。又南華日報は汪兆銘声明當時は頗る不人気
にて発行部数は激減したるも、その後時日を経るに
従ひ漸次発行部数を増加しつゝある由である。南
華日報は和平救国を主義として居り、日本と汪
兆銘との握手の結果、此の論調は非常に親日的な
る如く見られ易いが、事實は然らず、日本にとり不利な
報道又少からざる事は注意すべきである。

其の他の抗日主張の新聞紙の内容を見るに、事
實を歪曲して、(例へば)戦闘の記事に見られる如く傳
へるもの、日本の弱点を拡大して強調するもの、逆宣傳